

事業所名 はあと f+j 小郡南(1単位) 支援プログラム(児童発達支援・放課後等デイサービス) 作成日 2024 年 12 月 28 日

法人(事業所)理念		子どもたちの可能性を一緒にみつけていきます。							
支援方針		運動を中心とした体験型プログラムでからだと心のバランスを育みます							
営業時間		月～金	9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<p>運動療法・体操：身体的な健康を保つために、軽い運動やストレッチを行い、体力や柔軟性を向上できるように支援をします。特に、運動が苦手な子どもでも楽しめるようなゲームや遊びを取り入れた運動療法を行います。</p> <p>健康チェック：定期的な体調チェック(体温、体重測定、血圧測定など)を行い、健康管理をサポートします。必要に応じて医療機関との連携も行います。</p> <p>食事支援：健康的な食習慣を身につけるため、栄養バランスを考えた食事の提供や、食事のマナーを学ぶプログラムが含まれることもあります。また、アレルギー対応や特別な食事制限がある場合の支援も行います。</p> <p>日常生活動作(ADL)の支援：生活の基本的な動作(着替え、食事、トイレ、歯磨きなど)を自立してできるようにサポートします。個別の支援計画に基づいて、子どもの能力に応じてサポートが提供します。</p> <p>(家事・生活スキルの練習：食器洗い、掃除、片付けなど、家庭内で役立つ基本的な生活スキルを練習するプログラム。自立を促進するために、できることから少しずつ挑戦する内容)</p>							
	運動・感覚	<p>運動能力の向上：体力や運動スキルの向上を目指し、感覚の統合：視覚、聴覚、触覚、平衡感覚などの感覚のバランスを整える支援です。</p> <p>社会的なスキルの向上：集団活動を通じて、コミュニケーション能力や協力する力を育む。</p> <p>自己肯定感の向上：達成感を感じることで、自信を持てるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生：子どもたちの体力や協調性を高める。競技形式にすることで、楽しさと達成感を感じやすい。視覚や聴覚を刺激するゲームで触感を意識的に感じさせ、リラックス効果を高められるよう支援します。 中学生：体力や運動能力が高まり、社会的な交流や自己表現が重要な時期です。集団活動や自己表現を意識した運動や感覚刺激を取り入れます。 高校生：高度な運動能力を持ち、自己管理能力や社会的スキルも重要になってきます。自分のペースで活動することができるプログラムや、より高度な協力やチームワークを学べるプログラムを取り入れます。 							
	認知・行動	<p>基本的なコミュニケーションと協力のスキルの支援です。</p> <p>他者と良い関係を築くための基礎を学び、自己表現や他者理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生：感情のコントロールや自分の気持ちを相手に伝えるスキルの支援です。できるだけ楽しい活動を通して、人間関係の重要性を理解できるように支援します。 中学生：仲間との調和と問題解決のスキルの支援です。思春期に入る中学生は対人関係の悩みが増える時期。問題解決能力を養い、適切なコミュニケーション方法を身につけられるよう支援します。 高校生は社会的なネットワークを広げる時期でもあり、深い人間関係を築くスキルが重要なため支援です。それぞれの個性を尊重し、今後の進学や就職に向けた「社会的適応能力」や「対人スキル」もサポートします。 							
	言語コミュニケーション	<p>子どもたちが自分の意見を適切に伝える力や、相手の意見を理解し、共感できる力を育ていけるように支援します。年齢ごとの違いを尊重しながら、成長に合わせたサポートを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生：言葉を使った自己表現力の向上や、日常会話や友達とのやり取りをスムーズにできるよう、コミュニケーションにおける基本的なマナーを学ぶ支援をします。 中学生：相手を傷つけない方法で意見を述べることが求められるため、具体的なシチュエーションを通じて、自己表現と他者への配慮のバランスを学べるように支援します。 高校生：自分の考えを明確に伝える能力を高めるよう、社会的な場面での適切なコミュニケーションを学ぶ。多様な視点を理解し、効果的な対話を行うスキルを身につけられるよう支援します。 							
	人間関係社会性	<p>子どもたちが情報を正しく理解し、記憶し、応用できる力を養う。社会的なルールを学び、他者と良好な関係を築き、感情や行動のコントロールを学ぶ。多様な視点を理解し、効果的な対話を行うスキルを身につけるよう支援をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生：自己管理スキルや社会的スキルを習得、日常会話や友達とのやり取りをスムーズにする、コミュニケーションにおける基本的なマナーを学ぶ支援をする。 中学生：自己管理能力の向上、感情コントロールと対人関係のスキルを強化、問題解決や社会的な判断力を養えるよう支援します。 高校生：自立的な生活力を身につける、社会で求められるスキルを学ぶ。感情やストレスの自己管理ができるよう支援します。 							
家族支援	保護者への情報提供、相談支援、交流イベントを通じて負担軽減や精神的サポートを行い、家族全体の福祉向上を目指します。				移行支援		放課後ディサービスの移行支援は、子どもの進学や就労に向けて生活技能や社会適応力を育成し、家族や支援機関と連携して円滑な移行をサポートします。		
地域支援・地域連携	地域支援・地域連携は、地域社会との交流や協力を通じて、子どもたちの社会参加を促進し、地域全体で支援ネットワークを構築します。				職員の質の向上		事業所内での研修実施・外部研修への参加		
主な行事等	通常行事以外に、季節に合わせた活動を実施(初詣、節分、ひな祭り、夏の水遊び、宿泊訓練、誕生日会、クリスマス会等)年に一度、保護者との交流行事も開催								